

渡辺 周 総務副大臣 挨拶

私共、民主党が衆議院議員選挙の折に、地方が自由に使えるお金を増やしますと、お約束申し上げました。早速、原口総務大臣就任以降、まず、国税5税の現在の地方交付税法定率を約32%から4割超に引き上げて、そして三位一体改革で取り上げられた地方交付税の1兆1千億円を、増額をして概算要求で要求をしております。これから財政当局との折衝が始まりますけれども、あの時の約束を守れど、是非とも皆様方の後押しをいただきたいと思っております。財政当局では財政規律を守るといっていますが、総務省ではまず交付税の増額という約束を守ろうとしております。

国税の事業仕分けをやっておりますけれども、その中で、何をやっているか分からないような公益法人やら基金を通じて、今までずいぶん国の官僚にお金が使われてきた。これだけのお金があったら地方に戻せど、このことを訴えてまいりますので、お力添えをいただきたいと思っております。

私の選挙区は静岡県の伊豆半島でございます。過疎の村はありませんが、過疎の町はございます。私が訪れた限界集落の中には、一人で暮らしているおじいさん、おばあさんを、ご家族が都市部に連れてきて一緒に暮らそうよと言っても、「不便だけれども、ここがいいんだ」と言ってふるさとを守っている方々がたくさんいらっしゃいます。まさに日本の原風景がここにあるわけでございます。時として忘れられそうになる、こうしたふるさとを支える方々一人ひとりが思いを寄せるような、温かい、そして優しい政権でなければならない。不便だけれども、不安はないと言っていただけのような地方をつくるためにも、頑張ってまいりたいと思っております。

平成二十一年十一月十八日

総務副大臣 渡辺 周